

報道関係 各位

2025 年 8 月 29 日

芝浦工業大学

藤本壮介建築設計事務所

芝浦工業大学 交流プラザプロジェクト

第 4 回 建築家展（藤本 壮介 展）

「太宰府天満宮仮殿の軌跡」開催

* * *

芝浦工業大学（東京都江東区／学長 山田純）建築学部は、2022 年度から世界を代表する有名建築家の展覧会を主催しており、4 回目となる今回は大阪・関西万博の会場デザインプロデューサーとして知られる**藤本壮介氏**をお招きし、**第 4 回建築家展（藤本壮介展）「太宰府天満宮仮殿の軌跡」**を開催します。

本学の創立者有元史郎は、菅原道真公を尊崇し学校教育を志したことが伝わっています。本展覧会では、太宰府天満宮の協力を得て、菅原道真公が祀られる太宰府天満宮の「仮殿^{*}」設計にあたって藤本氏が込めた思いや作品の完成に至るまでの試行錯誤の過程を、図面や模型、写真を通して体感いただける展示を行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※「菅原道真公 1125 年 太宰府天満宮式年大祭」を令和 9 年（2027）に控え、重要文化財「御本殿」大改修のために 2023 年に建設された。

■藤本壮介 展「太宰府天満宮仮殿の軌跡」

日時：2025 年 9 月 26 日（金）～10 月 26 日（日）10:00～17:00（最終入場 16:30）

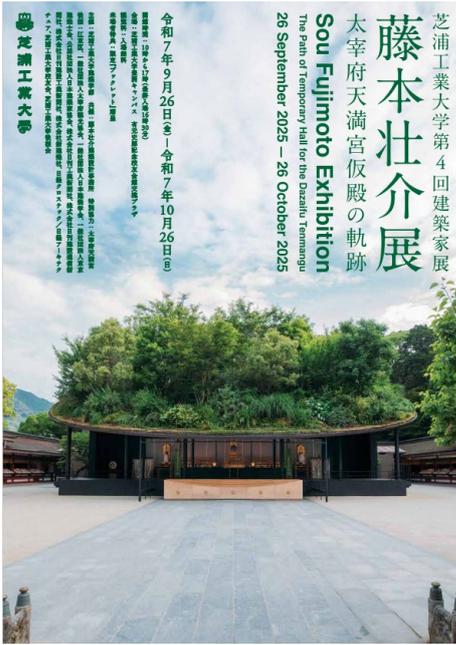
場所：芝浦工業大学 豊洲キャンパス 有元史郎記念校友会館交流プラザ <入場無料>

主催：芝浦工業大学建築学部

共催：藤本壮介建築設計事務所

特別協力：太宰府天満宮

後援：江東区、一般社団法人太宰府観光協会、一般社団法人日本建築学会、一般社団法人東京建築士会、公益社団法人日本建築家協会、株式会社日刊工業新聞社、株式会社日刊建設通信新聞社、株式会社日刊建設工業新聞社、株式会社新建築社、日経クロステック／日経アーキテクチュア、芝浦工業大学校友会、芝浦工業大学後援会



PROFILE：藤本 壮介

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。

2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞（ラルブル・プラン）に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。国内では、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の会場デザインプロデューサーに就任。2021年には飛騨市のCo-Innovation University（仮称）キャンパスの設計者に選定される。主な作品に、ブダペストのHouse of Music（2021年）、マルホンまきあーとテラス石巻市複合文化施設（2021年）、白井屋ホテル（2020年）、L'Arbre Blanc（2019年）、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン 2013（2013年）、House NA（2011年）、武蔵野美術大学 美術館・図書館（2010年）、House N（2008年）等がある。

芝浦工業大学とは

工学部／システム理工学部／デザイン工学部／建築学部／大学院理工学研究科

<https://www.shibaura-it.ac.jp/>

理工系大学として日本屈指の学生海外派遣数を誇るグローバル教育と、多くの学生が参画する産学連携の研究活動が特長の大学です。東京都（豊洲）と埼玉県（大宮）に2つのキャンパス、4学部1研究科を有し、約10,000人の学生と約300人の専任教員が所属。2024年には工学部が学科制から課程制に移行。2025年にデザイン工学部、2026年にはシステム理工学部で教育体制を再編し、新しい理工学教育のあり方を追求していきます。創立100周年を迎える2027年にはアジア工科大学トップ10を目指し、教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

芝浦工業大学 交流プラザプロジェクト

芝浦工業大学は有元史郎記念校友会館「交流プラザ」を大学の地域連携を推進する拠点として数々のイベントを企画しています。

建築家展

- 第1回（2022年度）：リカルド・ボフィル展
- 第2回（2023年度）：伊東豊雄展
- 第3回（2024年度）：坂 茂展
- 第4回（2025年度）：藤本壮介展



取材に関する問い合わせ先

学校法人 芝浦工業大学 入試・広報部 企画広報課 堀口・時田

TEL 03-5859-7070 FAX 03-5859-7071 E-mail koho@ow.shibaura-it.ac.jp

以上